

貧酸素水塊速報 (2019年)

【発行】 ○ 千葉県水産総合研究センター
 ○ 神奈川県水産技術センター
 【協力】 ○ 千葉県環境研究センター
 第三管区海上保安本部
 ○ モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)
 千葉県農林水産技術会議
 内湾底びき網研究会連合会
 東京都環境局
 ○ (国) 国立環境研究所
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

令和元年11月5～6日観測結果

貧酸素水塊は内湾北部の一部と、扇島沖に残っています(図1)。

しかし、縦断ラインの鉛直分布によると、貧酸素水塊は厚みが無く、規模も先月から変わらず小規模です(図2, 図3)。

水温は表層17～20℃、底層19～21℃です。

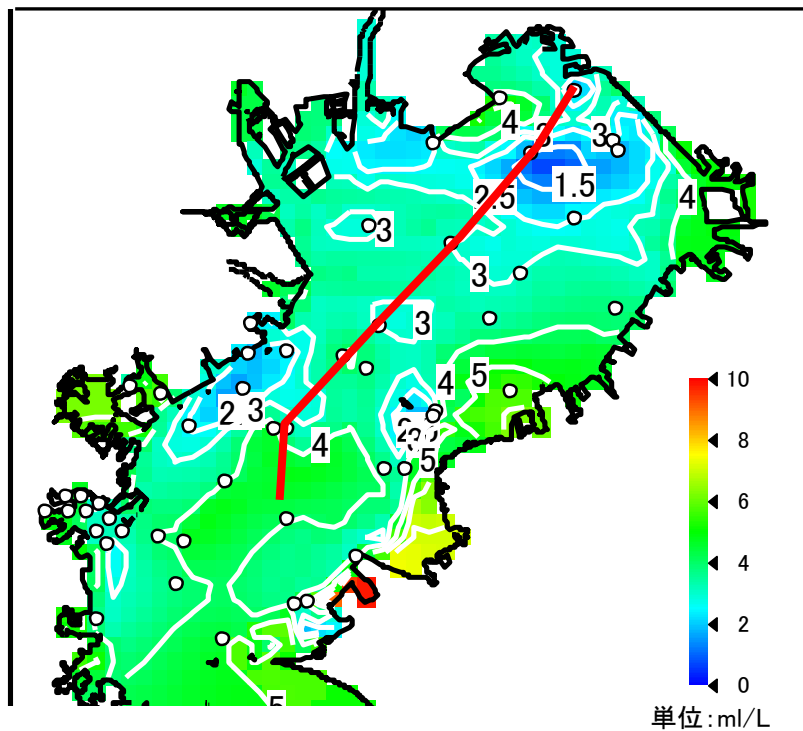


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

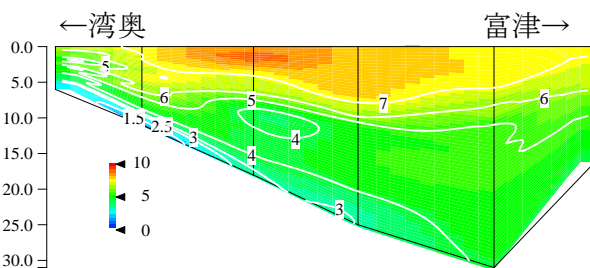


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

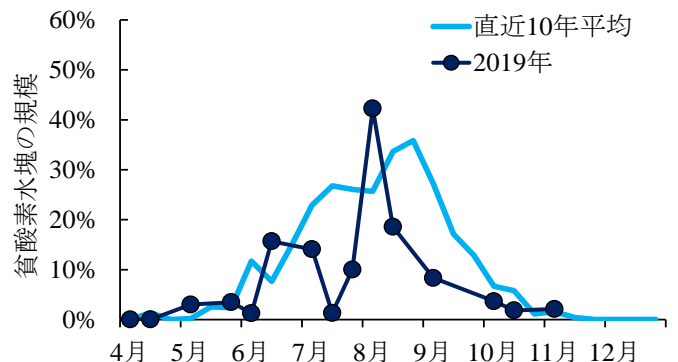


図3 貧酸素水塊の規模

(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)